

令和7年度 第1回 中堅・中小企業等のDX 促進に向けた検討会 議事要旨

1.会議の概要

日時:令和7年10月15日(水) 10時～11時30分

場所:経済産業省会議室

2.議事要旨

(1) 討議

論点①:応募対象企業について

- 応募対象企業を拡大するという事務局案に賛成である。DX には多様なモデルや成功事例があり、成功事例を多く見ていただくことによって、企業にとっても参考になる。
- 今まで対象では無かった事業者についても、事例を発掘し横展開できるという点で、応募対象企業の拡大に賛成である。
- DX セレクションの周知については、対象企業が拡大した事業者に対しても広く明確に行うべきである。

論点②:審査プロセスについて

- 書類だけでは読み取れないことを補完する意味で、プレゼンテーション審査を行った方が良い。
- 最終選考(プレゼンテーション審査)と表彰式を同日開催とすることについて、インパクトもあり、注目度や認知度の高まりも期待できて、良い方法だと思う。
- 事業者間の不公平が無いように、プレゼンテーション時間の遵守について、ルール作りや周知が必要である。
- プレゼンテーション審査の際に、質疑応答の時間があると、委員の認識合わせができるのではないか。
- プレゼンテーション審査の発表者について、経営者の取組や姿勢を審査すること、またDX は継続して取り組むべきことを踏まえて、「原則、経営者」とした方が良いのではないか。
- 最終選考と表彰式までの間の審査時間に工夫が必要であり、例えば、過去の選定企業の講演等を行うことが良いのではないか。

論点③:調査項目(応募用紙)について

- 記述式項目における「既存ビジネスモデルの深化」及び「業態変革・新規ビジネスモデルの創出」については、両方当てはまる場合もあるので、片方及び両方選択できるようにした方が良い。

以上